

## Injury Alert (傷害速報)類似事例

チャイルドロック機能付ウォーターサーバーによる左前腕熱傷

(No. 75 チャイルドロック機能付ウォーターサーバーによる左前腕熱傷の類似事例1)

事例	年齢：1歳 1か月 性別：男児 体重：9.7kg 身長：74cm	
傷害の種類	熱傷	
原因対象物	ウォーターサーバー（床置き型。2段階ロック機能付き温水蛇口。重さ16kg、横幅27cm、高さ103cm、床から蛇口までの高さ70cm。）	
臨床診断名	左前腕Ⅱ度熱傷 4%	
医療費	17,110円	
発生状況	発生場所	自宅のキッチン
	周囲の人・状況	事故発生時、児は父と一緒にリビングにおり、母はキッチンで食事の用意をしていた。キッチンの入り口にウォーターサーバーが置いてあり、リビングとキッチンの間に柵などはなかった。
	発生年月日・時刻	2018年5月14日 午前9時30分頃
	発生時の詳しい様子 と経緯	上記時刻に、父がウォーターサーバーのロックを解除してお湯を使用しており、父の傍らに本児もいた。お湯を使用する際はロックボタンを長押しすることでロックが解除され、ランプが点滅中はお湯が使用できる仕組みであった。ウォーターサーバーを使用した後、父はその場からすぐに離れた。その直後、本児が、ランプ点滅中にウォーターサーバーの温水蛇口を触れてしまい、本児の左前腕に、流出したお湯がかかり受傷した。受傷する瞬間を目撃した両親がすぐに患部を流水で冷やし、冷却材を使用しながら同日午前10時に医療機関を受診した。
治療経過と予後	医療機関受診時、左前腕に4%のⅡ度熱傷を認めた（図1）。生理食塩水で洗浄し、水疱蓋を破膜し、可及的に除去した後に、湿潤療法を開始した。翌日再診時に熱傷範囲及び深達度が進行していないことを確認した。家族に創部処置について指導し、受傷5日目、11日目の再診時に感染徴候がなく上皮化が進んでいることを確認した。	

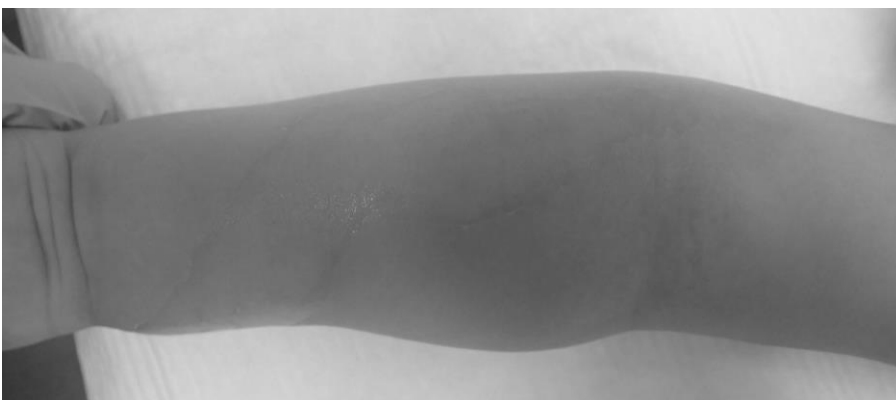


図1. 受傷同日の創部。左前腕に4%のⅡ度熱傷を認めた。

## Injury Alert (傷害速報) 類似事例

チャイルドロック機能付ウォーターサーバーによる熱傷

(No.75 チャイルドロック機能付ウォーターサーバーによる熱傷の類似事例 2)

事例	年齢：0歳10か月 性別：男児 体重：8.0 kg	
傷害の種類	熱傷	
原因対象物	ウォーターサーバー（床置き型。チャイルドロック機能付き温水蛇口。高さ130cm・横幅27cm・奥行34cm・重量18kg）	
臨床診断名	左手掌Ⅱ度熱傷 1%未満	
医療費	23,830円	
発生状況	発生年月・時刻	2018年11月X日（水）午後6時45分頃
	発生時の詳しい様子と経緯	患児は兄（4歳）、父とともに自宅の居間にいた。母は台所で家事をしていた。父は兄と遊んでいたため、患児を見ていなかった。上記時刻にお湯の出る音と患児の啼泣に父が気づき振り返ると、患児がつかまり立ちをしてチャイルドロック機能付きウォーターサーバーの温水蛇口の下にあるレバーを引いて患児の手に熱湯がかかっている状況であった。父はすぐに患児をウォーターサーバーから引き離し、手を流水で冷やした。患児が泣き止まないため、同日午後8時ごろに医療機関を受診した。ウォーターサーバーは自宅居間に設置され、レバーの位置は床から90cm程度の高さであった。なお、ウォーターサーバーやチャイルドロックのシステムは正しく作動しており、故障はなかった。
治療経過と予後	受診時左示指・手掌に発赤と水疱形成を認めた（図1）。1%未満の第Ⅱ度熱傷と診断し、生理食塩水で洗浄の上、ワセリンを塗布したガーゼで被覆して同日は帰宅とした。翌日再診し、洗浄後に水疱を破蓋した。自宅でも毎日洗浄を継続していただき、開放性湿潤療法を継続した。感染徴候を認めず経過し、受傷14日目に終診となった。	



図1. 受診時の創部写真。左示指・手掌に発赤と水疱形成を認めた。

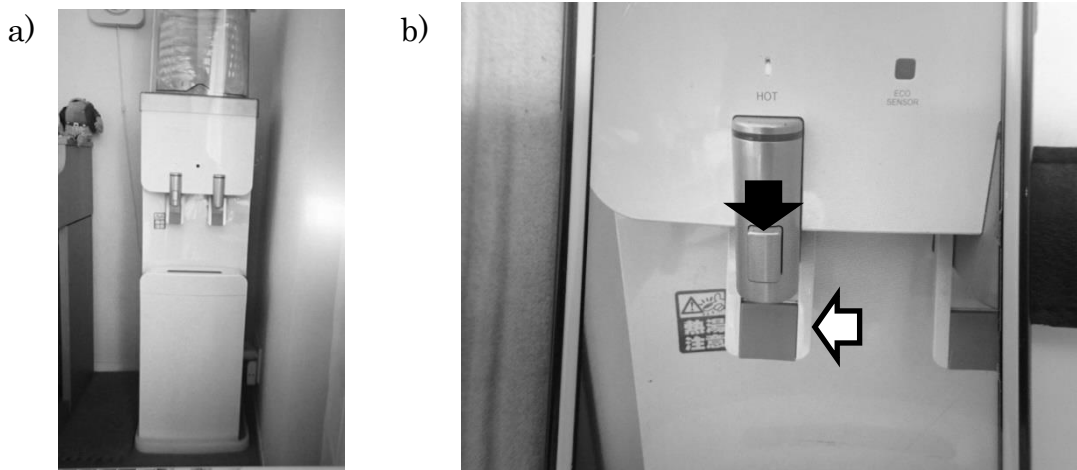


図2. 今回の原因となったウォーターサーバー

a) 全体像

b) 温水蛇口（黒矢印で示すチャイルドロックを解除するボタンを押した状態で、白抜き矢印で示すコックレバーを押すことで出水する）

<ウォーターサーバーを提供している企業からの追加情報>

1. 今回の事例で対象となっているウォーターサーバーは、2011年より市場に導入されており、2018年12月に終売となっている。2020年1月末の時点で約14万台が継続使用されている。
2. 現行モデルのチャイルドロックシステムは、旧モデルと同様にチャイルドロックを解除するボタンを押しながらコックレバーを押すことで出水する構造になっているが、ボタンにカバーが付いているため、チャイルドロックシステムを解除することがより困難となっている（図3）。
3. なお旧モデルにおいてもチャイルドロックを解除するボタンをカバーするダブルロックカバーが標準アクセサリとして添付されている（図4）。ただし、今回の事例で提供された写真だけでは、その装着の有無等は確認できない。
4. また、ウォーターサーバーを提供する企業では、今回のような事案が発生した場合、家族からの連絡を受け、その連絡の内容や利用状況等に応じて、個別に部品交換や無償で新モデルのウォーターサーバーに交換するなどの対応を行っている。

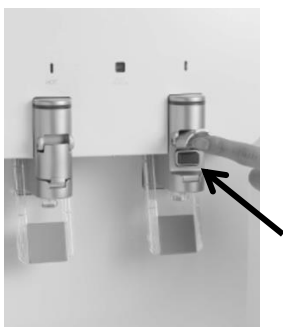


図3. 新モデルではチャイルドロックシステムを解除するボタン（黒色）は、カバーを開けないと押すことができない（企業提供のホームページより許可を得て転載）。

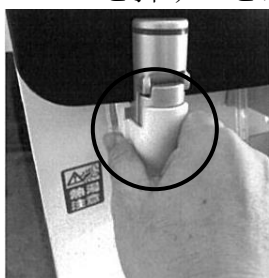


図4. ダブルロックカバー（白）を装着すると、チャイルドロックシステムを解除するボタンを押す動作がさらに複雑になる（企業より写真提供）。